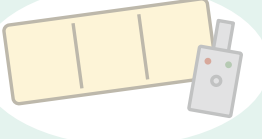
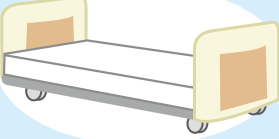




## 今月のテーマ 「療養環境に応じたセンサーの選定」

「離床センサー」と「センサー内蔵ベッド」の違い、それぞれの特長について見てみましょう。

	テクノスジャパン コードレスシリーズ 	センサー内蔵ベッド 
設置	ベッド上やベッド周りに設置	必要なし
設定	必要なし	コントローラーで設定
センサー種類	ベッド周り (9種類) + その他 (3種類)	ベッドに内蔵 (複数の機能よりひとつを選択)
ベッド周り	センサーを設置していることを目視で確認できる	ベッド周りにセンサーがない

### 特長まとめ



あらゆる患者さんの状態に合わせて、豊富なラインナップからセンサーを選定できる。また、複数のセンサーを組合せて使用できる。

センサーはベッドに内蔵されているためベッド周りに機器がなくスッキリしている。

### 適合する療養環境



平均在院数が短く患者さんの入れ替わりが多い**急性期**や**回復期**の病棟に向いています。「コードレスシリーズ」はセンサーをかんたんに入れ替えることができ、組合せによるカスタマイズもできます。

ベッド上の動きを知りたい患者さんに適合し、ベッド周りをスッキリさせたい**慢性期**や**終末期**の個室に向いています。

## 重要

「療養環境」や「患者の状態」に合わせた製品選びが大切です！  
離床センサーの効果をさらに高めて、より安心な療養環境へ！

『離床センサーの効果』

=

製品

+

使い方

+

適合

総合計を  
高めることが  
大事なのね！

